

## 4 東京2020パラリンピック聖火リレー

8月20日（金）の朝、市内障がい者関連施設及び子ども関連施設から集めた、パラアスリートへの応援や共生社会への想いが込められた種火やメッセージカードをひとつの火にして「パラリンピック聖火（まちだの火）」を採火しました。このまちだの火は、全国各地の火などと合わさり、東京2020パラリンピック聖火になりました。



**"CHECK"**  
全部で17施設のみなさまにご協力をいただきました！

### ●障がい者関連施設●

かがやき(町田ダリア園)、クラフト工房 La Mano、しんわ町田事業所、ひかり療育園、町田リス園

### ●子ども関連施設●

子ども創造キャンパスひなた村、子どもセンターばあん、子どもセンターつるっこ、子どもセンターばお、子どもセンターただON、子どもセンターまあち、玉川学園子どもクラブころころ児童館、南大谷子どもクラブMOこもこ、木曽子どもクラブきそっち、南町田子どもクラブつみき、小山子どもクラブさん、三輪子どもクラブMIWA~GO

採火式では、協力施設から集めた種火やメッセージカードを、採火皿の中で1つの火にしました。1つの火にする大役を務めたのは、子どもセンターばあんの子どもたちです。

このまちだの火はランタンに格納され、同日昼に行われた、都内集火式に向かいました。

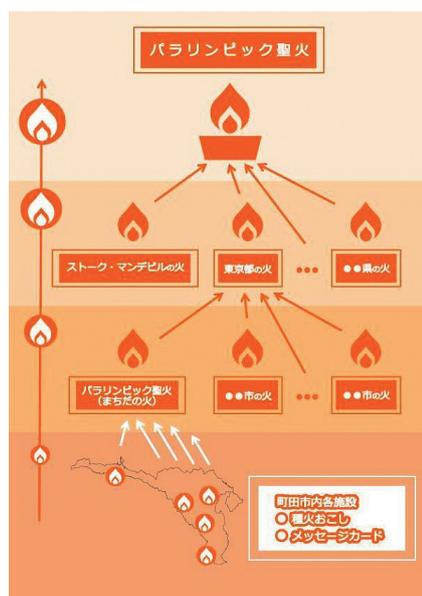


## 開催概要

### (1) パラリンピック聖火リレーとは

パラリンピック聖火リレーは、ギリシャ・オリンピアの太陽光で採火された炎をつなぐ、オリンピック聖火リレーとは異なります。パラリンピック発祥の地であるイギリスのストック・マンデビルの火と、開催国内の複数箇所で行った火を採火することで実施します。

東京2020パラリンピック聖火リレーは、「Share Your Light/あなたは、きっと、誰かの光だ。」のコンセプトのもと、オリンピック終了後、2021年8月12日から8月24日のパラリンピック開会式までの間で開催しました。



### (2) 開催スケジュール

- ・ 8月12日から16日：43道府県（の市区町村）で採火
- ・ 8月17日から20日：競技開催都県（静岡県・千葉県・埼玉県・東京都）で採火
- ・ 8月20日：全国集火式
- ・ 8月21日から24日：開催都市東京都内聖火リレー（18区市）

## コラム

### 都内集火式について

8月20日昼に行われた都内集火式に向けて、多くの都内区市町村の担当者は、同日早朝から採火を行い、対応に追われていたと思われます。各自治体で採火した火は、東京都庁に集合し、都民広場に特設されたステージ上で合わさって「東京都の火」になりました。採火の際は、区を代表して江東区山崎区長、町村を代表して瑞穂町杉浦町長、そして、市を代表して町田市石阪市長が登壇しました。

